

### JAL グループ「第 59 回すずらんプレゼント」

～すずらんの可憐な花と爽やかな香りが本土復帰 40 周年の沖縄へ～

2012 年 05 月 31 日

JAL グループは、5 月 24 日～25 日に沖縄地区において、「北海道のすずらんの花の贈呈式」を行いました。これは JAL が東京-沖縄路線を就航した 1954 年(昭和 29 年)より毎年、沖縄へすずらんを空輸し、福祉施設を含む沖縄関係先の皆様へお届けし、南国では見ることのできない北のすずらんの花と香りを楽しんでいただくという企画で、今年で 59 回目を数えます。

この時期、梅雨をむかえている沖縄で JAL グループからの「すずらんの花の贈呈」は風物詩として定着していますが、特に今年は沖縄にとって本土復帰 40 周年という節目でもあり、その中で今回のプレゼントは意義のあるイベントとなりました。

5 月 24 日のすずらんの贈呈では JAL 沖縄支店の上木東支店長をはじめ、第 59 代すずらん大使として JAL、JTA の客室乗務員 2 名が県内各関係先を訪問し、また翌 25 日は県内三か所の福祉施設を JTA、RAC 客室乗務員 2 名が訪問し、すずらんの花と香りと共に笑顔をお届けすることができました。

沖縄の本土復帰以前から、当時国際線として沖縄路線に就航してきた JAL は、これから先も沖縄の皆様笑顔をお届けできるよう努めてまいります。



■ JAL グループ 東京-沖縄線のすみ

| 年         | 月 日  | 記 事                                                                       |
|-----------|------|---------------------------------------------------------------------------|
| 1953(S28) | 10.1 | 日本航空設立                                                                    |
| 1954(S29) | 1.15 | 那覇支所(沖縄支店の前身)開設                                                           |
|           | 2.2  | 東京=サンフランシスコ線開設(週 2 往復、DC-6B)                                              |
|           | 2.5  | <u>東京=沖縄(那覇)線開設(週 2 往復、DC-6B、当時は国際線)</u><br>年間ご利用者数:(1956 年から記録あり)2,495 名 |
| 1967(S42) | 6.20 | 南西航空(現:日本トランスオーシャン航空)設立                                                   |
| 1972(S47) | 8.1  | 国内線としては初めてジャンボジェットが東京=沖縄(那覇)線に就航                                          |
| 1977(S52) |      | 沖縄キャンペーン開始(Let's Kiss The Sun)/歌:山下達郎                                     |
| 1997(H9)  | 8.1  | 日本トランスオーシャン航空、東京=沖縄(那覇)線開設                                                |
| 2004(H16) |      | 東京=沖縄(那覇)線 1 日 10 往復。年間ご利用者数:248 万人                                       |
| 2009(H21) | 2.5  | 東京=沖縄(那覇)線 就航 55 周年。<br>1 日 11 往復。年間ご利用者数:301 万人                          |

### ■東京－沖縄線 就航当時の様子



沖縄に向けて東京国際空港(羽田)を出発する 1 番機(DC-6B 型機)

- 東京発沖縄行き 1 番機は「City of Nara」号(DC-6B 型機、JA6203)。
- 「City of Nara」号は、直前に就航した東京サンフランシスコ線(1954 年 2 月 2 日)のアメリカ側からの 1 番機として 1954 年 2 月 5 日午後 1 時過ぎに東京国際空港(羽田)に到着。
- 翼を休める暇もなく午後 4 時に東京国際空港を出発し、同日午後 8 時 42 分に沖縄の嘉手納飛行場に到着。
- 乗客は荒木茂久二航空局長ら 9 名の招待客と 11 名の有料客で、一行には琉球舞踊家の平良リエ子さんも。
- 同機は折り返し午後 9 時 15 分には嘉手納飛行場を出発。6 日午前 2 時、東京国際空港に帰着。
- 当時は、沖縄返還前であったので国際線であり、本土からの渡航者はパスポートに代わる身分証明書が必要であった。
- この頃、沖縄では米国民政府により、那覇飛行場北側の干潟を埋め立てて民航地区とする工事がすすめられており、民間機の那覇飛行場への乗り入れができなかった。
- 工事が完成する 1954 年(昭和 29 年)11 月までの沖縄への乗入れは、那覇飛行場ではなく、嘉手納飛行場になっていた。

以上